

# [経済]学部1年女子の 合格体験記

## 自己紹介

私は、東北大学経済学部に所属している1年生です。出身は神奈川県です。

高校3年生までは物理・化学選択の理系で、浪人を機に文転しました。一般入試で入学しました。

## 東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：浪人中の夏頃

明確に志望したのは、センター試験後です。

理由：元々国立大学で勉強したい、一人暮らしをしてみたいという思いがあり、自分の学力と照らし合わせていくつかの旧帝国大学を志望校に入れていました。国立大学を志望した理由は、教育力や研究力が高いのと、雰囲気私に合っているなど感じたからです。センター試験後に、自己採点や二次試験の配点などを総合的に評価した結果、東北大を受験することにしました。

## 受験期の勉強方法

全ての教科において、問題を解いたら間違えたところを必ずチェックして、何度も繰り返し解くという勉強法を実践していました。また、色々な参考書や問題集に手を出すのではなく、これと決めた1~2冊を完璧に仕上げることを重要視して勉強していました。スキマ時間を有効活用したいと思い、予備校に通うために電車に乗っている時間や昼休みなどは、古文単語や英単語、センター試験の世界史や倫理政経の勉強をしていました。また、模試も受けっぱなしにせず、できなかった問題は解説を読んで時間を置いてから複数回解き直すとともに、類似した問題を予備校のテキストや問題集から探して解いてみたりもしました。

## モチベーションの保ち方

浪人したので、「もう後がない」という焦りが常にありました。モチベーションが極端に下がるということはなかったのですが、勉強に集中できない日はカフェで勉強したり、散歩してから勉強したりしました。また、定期的に大学に現役合格した友達とご飯に行って、大学の授業やサークルの話をしてモチベーションを維持していました。

## 受験直前~当日

直前期は予備校の直前講習を受けたり過去問を解いたりして最終調整を行っていました。仙台入りしたのは前日で、実際にホテルから東西線に乗って会場（東北大学川内キャンパス）まで行き下見をしたり、仙台駅近くで美味しいご飯を食べに行ったりして、リラックスして過ごしました。二次試験当日は、国語が難しく焦りましたが、その他の教科は対策通りに解くことができましたと思います。すでにいくつかの私立大学から合格をいただいております。2浪は回避していたので、変に緊張しすぎることもなく適度な緊張感で二次試験に挑めました。

### 【一人暮らし】

一人暮らしでは、今まで両親がやってくれていたことを全てを1人で行わなければなりません。自炊、洗い物、洗濯、掃除、買い物、光熱費や受信料の引き落としなど、はじめは慣れておらず時間がかかっていたのですが、今はテキパキとこなせるようになってきました。一人暮らしは自由なので、友達を呼んでピザパーティーやたこ焼きパーティーをしたり、たまには夜更かしをしたりすることもできます。ただ、朝は自分で起きなければいけないので、目覚まし時計やアラームの準備を忘れないようにしましょう。

### 【バイト】

私は、現在飲食店でバイトをしています。他にも、不定期ですが予備校の模試の試験監督もしています。私が働いている飲食店は、東北大の先輩に紹介していただいたところなので、安心して働くことができます。また、バイトでの接客業を通じて、挨拶や言葉遣い、作法なども学ぶことができ、やりがいがあります。しかし、シフト制なので、休み希望を出すときに自分の他の予定との兼ね合いを考えなければならず、スケジュール管理が大変です。

### 受験生へのメッセージ

大学生活は本当に楽しいです！受験期は辛いと思いますが、東北大に通っている自分の姿を想像して頑張ってください！

